

5/5

13カ国のこどもの国、 大盛況！



こどもまつり開催

筑紫南コミュニティ運営協議会が毎年開催している「こどもまつり」。竹馬やケンケンパーができる「むかしあそびの国」や、原田のかけ汁が食べられる「ふるさと飯の国」など、13種類の国が集まりました。中学生64人がこの日の運営の中心で、「小学生のときに参加して楽しかったので、みんなにも楽しんでほしい」と盛り上げ役になっています。子どもも大人も一緒に楽しめる一日となりました。



子どもの成長に気づき、喜びもひとしお

4/19

藤が咲き、 笑顔も満開



筑紫野市祭「二日市温泉藤まつり」

天拝公園で「二日市温泉藤まつり」を開催しました。天候に恵まれ、物産即売会や茶会などの催しや、ステージでの吹奏楽やダンスの発表などで多くの方が食に音楽に楽しい時間を過ごしました。同日、「長者の藤」の優美な香りが漂う武蔵寺では藤供養会が行われ、きれいに咲いた藤棚を背景に写真を撮影する人でにぎわいました。



藤供養会では7人のお稚児さんが、出仕の大役を務めあげました

5/10

運動会のような マラソン大会



宝満つばきマラソン大会

第30回「宝満つばきマラソン大会」が筑紫野市スポーツ協会により筑紫運動広場で開催されました。この大会は、多くの方が楽しく集う運動会のようなマラソン大会をめざしており、約1000人が参加し、個人種目のほか、4.2195kmを21走者でリレーするチーム対抗の「10分の1マラソン」も行われました。青空のもと、会場に興奮と熱気があふれ、声援と笑い声が響き渡っていました。



大会の象徴「10分の1マラソン」は大いに盛り上がりました

4/25

空気の不思議、 みんなで実験



かず先生のサイエンスショー

科学実験を通して学びの楽しさを伝えているサイエンスコミュニケーターの「かず先生」による楽しく学べるサイエンスショーが市民図書館で開催され、100人の親子が参加しました。空気の不思議をテーマに、ドキドキ、わくわくな実験の数々が行われ、参加者たちは自然現象の不思議や、かず先生の説明で初めて知ることの驚きの声をあげて終始楽しみながら学んでいました。



巨大な空気砲を使った実験

5/18

だれもがスポーツを楽しむ^{たの}まちづくりをめざして

まちづくり
ざだんかい
座談会を
かいさい
開催しました



▶まちづくり座談会の内容は、市ホームページでも紹介しています。



筑紫野市スポーツ協会とまちづくり座談会を開催

「住みたいまち日本一」実現のため、平井市長が筑紫野市スポーツ協会と、まちづくり座談会を行いました。懇談では、市が策定したスポーツ施設整備基本構想をもとに、総合スポーツ施設の必要性も含め、利用者が気持ちよく利用できる施設機能について意見交換を行いました。また、中学校の部活動は、教職員の働き方改革や少子化による競技人口減少への対応として地域展開を進める方針が共有され、生徒の移動手段や送迎時の事故防止、指導者のコンプライアンス研修などの課題についても話し合いました。



平井市長と筑紫野市スポーツ協会の皆さん

5/29

ゆた
みずしげん
豊かな水資源を
ねが
願って

水源祭

山口川水利組合により、水源祭が開催されました。水の恵みに感謝し、水害防止や五穀豊穡を願って、田植えに入るこの時期に毎年開催しているもので、市営水呑ダムと、その上流にある練富士池で祈願を行いました。平井市長と組合長の渡邊 茂樹さんら水源祭の参加者は、昨今の渇水状況を踏まえ、強い願いを込めてダムと池にお神酒を注いでいました。



練富士池へお神酒を注ぐ渡邊 茂樹組合長

5/24

ちいきぼうさいかつどう
地域防災活動の
きょてん
拠点が新しく

筑紫野市消防団本部詰所と車庫を整備

新しく整備された筑紫野市消防団本部詰所および二日市分団1号車庫の引き渡し式を行いました。式の中で平井市長は、4月に岩手県大槌町で発生した山林火災について触れ、地域に根差した消防団の重要性について話しました。新たに整備された車庫は、消防団本部および二日市分団の活動拠点として、今後の地域防災活動に役立てられます。



新たに整備された二日市分団1号車庫